

Profile



長野 秀幸 (ながの ひでゆき)  
昭和31年11月生  
兵庫県姫路市出身  
兵庫県立姫路西高等学校 (27回生)  
東京大学法学部卒業  
昭和55年4月参議院法制局入局  
令和2年12月参議院法制局長退任

がんばる

同郷会・同窓会の

世話役のご紹介

**白城会東京支部**

われら

ひよろぐー人

このコーナーでは、首都圏で同郷会や同窓会の世話役をされている方の活躍をご紹介します。今回は、白城会東京支部支部長 長野 秀幸さんからお話をお伺いしました。

**白城会東京支部の概要を教えてください。**

白城会は、旧制兵庫県立姫路中学校及び兵庫県立姫路西高等学校の同窓会組織です。首都圏在住者を対象とした東京支部の会員数は、ここ10年ほどは3,000人余りで、ほとんど変化はありません。東京支部の創設の経緯については、母校の大先輩で衆議院議長も務められた弁護士の高瀬一郎先生(姫中12回生)が東京白城会を組織されたのが始まりと聞いています。明確な創設時期は不明ですが、前回の東京オリンピックが開催された昭和39年(1964年)には活動していたようです。

**白城会東京支部の活動についてお聞かせください。**

白城会東京支部の活動の柱は、2つあります。1つは、年1回の支部会報「白城会東京だより」の発行です。昨年で通算26号になりました。もう1つは、年1回の支部総会「白城会東京のつどい」の開催(新人歓迎会も同日開催)です。毎年6月下旬から7月上旬にホテルグラン



令和元年度「白城会東京のつどい」世代を越えた交流

ドビル市ヶ谷で開催しており、毎回約150名の参加者でにぎわっています。ピアノやサックスなどの演奏、マジックショー、落語、バトントワリング演技など毎回多彩なイベントを実施するとともに、東京デイズニリー

ゾートのチケットなどの豪華賞品が当たる抽選会を行い、さらにたくさんを持ち帰り用のお土産を用意しています。これらの打ち合わせのため、毎月1回のペースで幹事会を開いています。役員は、支部長、副支部長（3名以内）、幹事長（以上の者は任期3年）及び常任幹事（約50名）ですが、他に約50名の方に各回幹事（学年幹事）を委嘱しています。

しかし、このたびのコロナ禍で、活動内容は一変しました。かろうじて「白城会東京だより」の発行は毎年続けていますが、役員総出で行っていた発行作業は外部委託に切り替えました。「白城会東京のつどい」については、令和2年度は開催を見送り、令和3年度は9月26日（日）にオンラインで開催しました。初めての試みでしたが、視聴者総数は320名、最大同時視聴者数は192名ののびりました。新人歓迎会も、8月21日（土）にオンラインで実施しました。幹事会は、ズームによるオンライン形式に切り替えました。

### 今後の支部活動のポイントについて教えてください。

今回経験したことは、今後コロナ禍が収束しても十分生かせると思います。もちろんリアルな集まりは必要不可欠ですが、支部総会をオンラインで中継すれば出席できなかつた方にも視聴していただくことができますし、また幹事会も適宜ズームで行えば多くの役員に参加していただくことができます。

役員の皆さんは、仕事や家庭で大変多忙な日々を過ごしながら、ボランティアで支部活動に参加しています。このような状況の中で支部活動を継続していくためのポイントは2つあると思います。1つは、業務の効率化と軽減化です。担当者が交代してもすぐに対応できるように



令和元年度「白城会東京のつどい」若者パワー！

です。同窓会の参加者の平均年齢を下げ、活動のマンネリ化を防止するとともに、業務のIT化を進めていくためには若い世代の発想が大変重要になります。現に今回のコロナ禍での対応では、若い世代の役員の活躍は目覚ましいものでした。

### 白城会東京支部に関わられたきっかけを教えてください。

先輩の熱心な勧誘を断り切れなくなって、東京支部の活動にかかり始めたのは平成12年（2000年）頃です。参議院に勤務していたので、翌年から支部会員を対象に参議院見学を続けて3年実施しました。その後は先輩の指導を仰ぎながら常任幹事として活動し、幹事長を4年、副支部長を3年務め、令和元年6月から支部長を務めています。

### ふるわつの思い出を教えてください。

私が子どもの頃育ったのは、姫路市の荒川地区です。当時は田園地帯で、近所の山や川でよく遊びました。視

聴覚教育の一環で当時既に小学校の各教室に白黒テレビが設置されており、NHKの教育番組のほか、メキシコオリンピック（1968年）やプロ野球の日本シリーズなどを見ていた記憶があります。先生も見なかったんでしょうね、いい時代でした（笑）。

### 白城会東京支部の皆さまへメッセージをお願いします。

白城会東京支部では、毎年、「世代を越えた交流」を合言葉に「白城会東京のつどい」を開催しています。コロナ禍が収束することを願ひ、今年は3年ぶりにリアルな集まりを企画したいと思っています。さまざまな年代や経歴の同窓生と出会い、「姫路弁（播州弁）」で語り合う場は、この上ない憩いの場となるものです。皆様、ぜひご参加ください。

また、若い世代の方の役員を募集しています。東京支部の活動に少しでも興味を持たれた方は、お気軽にご連絡ください。

### どうもありがとうございます。

●連絡先  
◆長野秀幸  
自宅：TEL/FAX 045-813-0274  
E-mail nagano-f@alpha.ocn.ne.jp  
携帯：TEL 090-2312-2209  
E-mail hideyuki.n5521@docomo.ne.jp  
◆白城会東京支部Facebookページ  
<https://www.facebook.com/hakujokai.tokyo>



# 『ひょうご五国 広がる五縁（ごえん）』

東京兵庫県人会の秋の恒例行事「総会・交流会」。今年度は、11月16日(火) 17時30分から、品川プリンスホテルにて開催しました。

今回は、11年ぶりに会長交代という大きな節目を迎えることとなりました。

また、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となりましたが、会場には、会員をはじめ兵庫県に縁のある方々や出展者等、総勢約300名を数え、大いに盛り上がりました。

## 兵庫県知事挨拶

昨年8月、兵庫県知事に就任された齋藤元彦知事にご挨拶いただきました。



### 【概要】

まず始めに、県政の大きな方向性をご説明します。私がめざす姿は、「躍動する兵庫」です。その上で、①民間や他府県との連携など「オープンな県政」、②誰も取り残さない「人に温かい県政」、③「県民ボトムアップ型県政」の3つを基本姿勢としています。

次に、新型コロナウイルス対応です。第6波に備え、県職員1,000人の保健所応援体制の確保に向けた研修の実施、病床・宿泊療養施設の拡大など、体制強化に取り組んでいます。また、社会経済活動を両立させていくため、観光・飲食キャンペーンを開始します。ワクチン検査パッケージを活用しながら、国のGOTOキャンペーンをポストコロナにつなげていきます。価値を生む経済の構築、②安全安心の社会の先導、③未来を創る人づくり、④個性を磨く地域づくり、⑤県

政運営の改革の5つを柱に施策を展開します。例えば、県内で起業する若者のスタートアップ支援です。先日、たつの市の若手起業家にお話を伺いましたが、県人会の方からノウハウや資金面での支援を受けられたそうです。本会でこうした若者たちの発表の場を設けたいと考えています。

2025年の大阪・関西万博は、兵庫に人・モノ・投資を呼び込むチャンスです。11月10日に大阪湾海上交通の実証実験を実施しましたが、将来的に、ベイエリアでのクルージングMICEにつなげていきたいと考えています。また、既存のLNG基地があり、優位性を持つ姫路港でのカーボンニュートラルポート実現に向け、関係機関と連携していきます。

観光では、2023年のJRデステイネーションキャンペーンに向け、本物の「食」、「文化・産業体験」を提示する体験ツーリズムを展開します。また、万博来場者を県内各地に誘うため、県全体をフィールドパビリオンに見立て、自立した地場産業、持続する農業、震災からの復興といったSDGsの課題解決モデルを体験してもらう機会を提供していきます。

和を含めた環境整備を進めます。また、本日付で、住友大阪セメント株式会社と包括連携協定を締結しましたが、民間の知恵や資金等を活用した社会課題の解決に向け、公民連携をより一層進めます。

ワーケーション知事室を実施し、地域の方々との意見交換等を通じて、課題やニーズを把握し、施策につなげていくとともに、地域の魅力を知事自らが発信していきます。まずは北播磨地域から始め、その後、県内各地を巡ります。

兵庫県を前に進めて欲しい。その県民の期待に応えるためにも、これからも失敗を恐れずチャレンジしていきます。

### 講演会

「本社機能を一部移転！淡路島で目指す『真に豊かな生き方・働き方』とは」と題し、株式会社パナソニックグループの山本絹子副社長にご講演いただきました。



### 【概要】

グループ代表の南部が所用のため、私から当社の活動を紹介します。



パソナグループの企業理念は「社会の問題点を解決する」。創業者の南部は、大学時代に経営していた塾で、母親たちから、子育て後は再就職が難しいという話を聞き、「家庭の主婦の再就職を応援したい」という思いから、人材派遣事業をスタートしました。その後、シニア世代や就職難の若者等の就業支援にも取り組んでいます。働くことは自立することであり、雇用の場の必要性を常に考えています。

そして今、取り組んでいる地方創生活動の発端は、阪神・淡路大震災（1995年）です。震災で多くの店舗が閉鎖されたため、従業員の雇用の確保のために全国を駆け回りました。

当時の労働者派遣法では、業種に制限があり、直接採用ならできるということで、神戸ハーバーランドの百貨店跡地に大型商業施設を開業しました。企業に向いて出店を依頼したり、被災した店主の受け皿となる「二坪ショップ」などを中心に展開。地元、人、企業のニーズを合わせて仕掛けると雇用が生み出せることを学びました。

そんな中、東京一極集中により、地方の過疎化が問題になっていました。地方で暮らすためには雇用が必

要で、農業分野も雇用の一つになり得ると考えました。淡路島に土地を借り、若者を集め、農業の活性化や独立就農を目指す農業ベンチャー支援制度「パソナチャレンジファーム」を開始したのが、淡路島での第一歩でした。

事業を進める中、農業は加工、販売、料理をすることで価値が上がる、という次の課題も見えて、「半農半芸」という全く新しい働き方にも挑戦しました。これを皮切りに、レストランやテーマパークの運営、海外との交流事業、文化発信など、様々な取り組みにチャレンジし続けています。

淡路島へ本社機能の一部を移転させることについてよく聞かれます。BCP（災害時等の事業継続計画）も重要ですが、人間が真に豊かに暮らすために必要なことは何か。コロナ禍では都会でなくても仕事ができることを学び、淡路島では豊かな生き方、働き方を追求してきました。いかに「夢のある新産業」を創り出せるか。島に若者が定着するためには、雇用の創造と魅力ある文化の育成が不可欠です。

関西や四国にある4つの空港を上手く活用し、これからは、食・健康・癒やし・芸術という健康資源を活かし、多くの方々に来てもらえる仕掛

けづくりを進めていきたいと考えています。新産業を創造し、世界でも類を見ない島となるよう頑張りたいと思います。

## 総会・交流会

### 《総会》

開会挨拶では、菅谷定彦会長から会長職退任と池田克彦副会長の会長就任を発表。次に、齋藤知事から挨拶及び新旧会長への労いと応援の言葉をいただきました。

続いて、太田颯衣幹事長から、議案の「令和2年度事業報告」、「令和3年度事業計画」、「役員改選」、役員会費を見直す「会則改正」について説明され、会場の皆様の大きな拍手によって承認されました。太田幹事長も幹事長職を退任、川崎修常任幹事の幹事長就任が発表されました。

次に、退任された菅谷前会長と太田前幹事長から、県人会での思い出

と皆様への御礼が述べられた後、池田新会長と川崎新幹事長から花束贈呈が行われました。続いて、池田新会長、川崎新幹事長から、挨拶と抱負が語られました。

これまで20年にわたり、県人会を見守っていただいた井戸敏三前知事へ、菅谷前会長から花束を贈呈。井戸前知事は、県人会の皆様への御礼、新旧役員の方々への労いと応援の言葉を述べられ、今後も県人会の特別顧問として就任される旨、報告されました。

最後に、井戸前知事、齋藤知事、新旧会長、新旧幹事長が一堂に会し写真撮影が行われました。



今回の6月号「ふるさとを語る」に池田新会長に登場いただく予定です。楽しみにお待ちください。



## 《交流会》

昨年度はコロナ禍で開催できま  
 せんでしたが、今年度は岡田三利さん  
 (県人会幹事・西脇市出身)、野村富  
 美江さん(県人会会員・尼崎市出身)  
 の司会により、テンポよく会を進行  
 していただきました。

まず、県人会活動報告では、総  
 会・交流会企画委員及び当日応援い  
 ただいた3名の会員の皆さんを川崎  
 修企画委員長から紹介。続いて、三  
 井貴子新企画委員長から挨拶があり  
 ました。



次に、のののの会、兵庫お酒の  
 会、俳句サロン「道草」及びひょう  
 ご出会いサポート東京センター・カ  
 ムバックひょうご東京センター・カ  
 ムバックひょうごハローワークによ  
 る活動報告がありました。

続いて、出展団体による「PRタ  
 イム」では、県情報政策課、但馬空  
 港推進協議会、兵庫県立大学、芸術  
 文化観光専門職大学、(株)リム・ジャ  
 パンの5団体が登壇されました。

恒例の福引抽選会では、会長賞、  
 知事賞、県議会議長賞、町村会長賞  
 など豪華賞品の当選者が発表される  
 たびに大きな歓声と拍手が場内に沸



き起こり、盛り上がりも最高潮とな  
 りました。

最後は、会を代表して、太田前幹  
 事長からホテルへの感謝の言葉、そ  
 して、会場を提供いただいた株式会  
 社プリンスホテルの小山正彦代表取  
 締役社長(県人会新副会長)からご  
 挨拶をいただき、閉会となりました。  
 久々の再会に、会場内は終始、談笑  
 する声に包まれ、非常に賑やかな会  
 となりました。

なお、来年度(第44回)の総会・  
 交流会は令和4年11月21日(月)、  
 品川プリンスホテルで開催する予  
 定です。

## 会場内の展示

### 【PR展示】

- 県地域創生局兵庫津ミュージアム整備室 ○県情報政策課
- 兵庫県立大学 ○芸術文化観光専門職大学 ○(公社)ひょうご観光本部
- ひょうご出会いサポート東京センター、カムバックひょうご東京センター、  
 カムバックひょうごハローワーク
- 但馬空港推進協議会

### 【物品販売】

- (一社)兵庫県特産物発信協会(兵庫わくわく館) ○日本橋室町すもと館
- (株)リム・ジャパン



# 県人会関係者・県内市町・企業等からの寄贈品目録

## 福引抽選会景品（県人会関係者等からの寄贈品）

御 芳 名	品 名	数量
株式会社テレビ東京特別顧問 東京兵庫県人会会長	菅谷 定彦 様 商品券（2万円） テレビ東京オリジナルグッズセット	1
株式会社プリンスホテル 代表取締役社長	小山 正彦 様 ペアディナー券 (品川プリンスホテル「テーブル9」)	2
株式会社夢舞台(グランドニッコー淡路) 代表取締役社長	水埜 浩 様 ペア宿泊券	1
株式会社神戸ポートピアホテル 代表取締役社長	中内 仁 様 ペア宿泊券	1
株式会社ホテルオークラ神戸 代表取締役社長総支配人	石垣 聡 様 ペア宿泊券	1
ホテルモントレ神戸 総支配人	大原 拓也 様 ペア宿泊券	1
神戸メリケンパークオリエンタルホテル 総支配人	松岡 正 様 ペア宿泊券	1
ホテルニューアワジプラザ淡路島 専務取締役	木下 紘二 様 ペア宿泊券	1
神戸肉流通推進協議会 会長	神澤 友重 様 神戸ビーフ	2

兵 庫 県 関 係	品 名	数量
兵庫県知事 東京兵庫県人会特別顧問	齋藤 元彦 様 純米大吟醸 龍力 米のささやき上三草	1
兵庫県議会 議長 東京兵庫県人会特別顧問	藤本 百男 様 NAKAGO 錫のストローセット	1
兵庫県議会 副議長	谷口 俊介 様 洋菓子詰め合わせ (パティスリーリッチフィールド)	1
兵庫県町村会 会長 (佐用町長)	庵道 典章 様 軟鉄製造L形(市川) パター	1
但馬空港推進協議会 会長	岡本 慎二 様 ペア往復航空券 (東京(羽田)-大阪(伊丹)-但馬間)	1

## 福引抽選会景品（県内市町からの寄贈品）

市 町	品 名	数量	市 町	品 名	数量
神戸市	神戸ワイン「ベネディクション ルージュ2016」 「ベネディクション ルージュ2017」	10	たつの市	播州手延べそうめん「揖保乃糸」、 革細工干支「寅」	5
西宮市	吟醸純米 超特選白鷹	2	赤穂市	播州赤穂 塩の国の塩	3
芦屋市	あしやビール	5	宍粟市	揚げかきもち、リーフパワー(除菌・抗菌・ 消臭剤)	13
伊丹市	きざみ奈良漬、生ぼんず、伊丹名所せんべい	1	神河町	神河町特産品セット	3
宝塚市	桑快茶	10	市川町	市川町特産品詰め合わせ	1
川西市	いちじくワイン	2	福崎町	もち麦セット	5
三田市	さんだ産だセット(黒豆くず餅、カレー、 三田牛肉みそ、三田青磁マグカップ)	1	太子町	いちじく羊羹(2個入)	2
猪名川町	猪名のささ焼き	4	上郡町	円心モロどん	3
明石市	明石のり プラ瓶箱入(2個セット)	2	佐用町	ひまわり油・ひまわりドレッシングセット	1
加古川市	靴下セット	2	豊岡市	米焼酎(幸鶴舞)、無農薬コウノトリ育む お米3合、米粉バウムクーヘン	2
高砂市	松右衛門帆 ペンケース	2	養父市	朝倉山椒オイル	5
西脇市	日本酒 醸し人九平次	2	朝来市	朝来市特産品セット	3
三木市	ゴルフボール 1スリーブ	3	香美町	炊き込みご飯の素&たじまのお米セット	2
小野市	純米大吟醸 おの恋	2	新温泉町	新温泉町特産品セット	2
加西市	加西てぬぐい	5	丹波篠山市	丹波篠山の味覚詰め合わせ	2
加東市	加東市特産品セット	2	丹波市	ブルーベリージャムセット、丹波栗渋皮煮	1
稲美町	ナッツおすすめセット	2	洲本市	淡路島グルメセット	2
播磨町	味付け海苔詰め合わせ	2	南あわじ市	玉ねぎと玉ねぎ加工品詰め合わせ	1
多可町	多可町名産播州百日どり かんづめセット	2	淡路市	幸せをはこぶ鶴香(こうのとりこう)、淡路 市特産品セット	2
姫路市	香寺ハーブガーデン 恋する姫茶	2			
相生市	うまいか ペーロンBOX	5			



# 令和2年度事業報告・収入支出決算

## 令和2年度事業報告

### 1. 幹事会等

種 別	年月日	内 容
常任幹事会	R 2. 7.29(水)	令和元年度事業報告・決算報告(案)、令和2年度予算(案)等について協議

### 2. 総会・講演会

場 所	年月日	内 容
品川プリンスホテル	R 2.11.16(月)	総会 会長挨拶、知事挨拶、事業報告等 講演 河田 恵昭 さん (阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長) 参加者 約200人

### 3. 会報誌「ふるさとひょうご」

発行回数	発行部数	備 考
年2回	各1,600部	138~139号

### 4. のののの会(中堅・若手会員交流会)

場 所	年月日	内 容
オンライン配信 (兵庫県東京事務所内)	R 3. 3.12(金)	「リモートで行けたら行くわ! 勉強会」 講師 竹村 英樹さん (兵庫県東京事務所長) 演題 データで見る兵庫のすがた 参加者 33人

### 5. 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業

内 容
ふるさとひょうごふれあいセミナー、県人会ふるさとツアー、兵庫お酒の会、東京宝塚劇場公演鑑賞会、首都圏の同郷会・同窓会との意見交換会

## 令和2年度収入支出決算

### (収入の部)

(単位: 円)

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	増減 (A) - (B)	説 明
会 費	1,949,188	2,592,000	△ 642,812	年会費@3,000/人 新年度分徴収に併せて過年度分含め延べ650人分
参 加 費	529,572	1,080,000	△ 550,428	総会交流会 172人 529,572 会員事前 @3,000×133人 非会員 @4,000×37人 学 生 @1,000×2人
広 告 料	1,420,000	1,320,000	100,000	会報誌広告料
補 助 金	800,000	800,000	0	(公財)兵庫県市町村振興協会助成金
ふるさとひょうご基金積立	0	1,000,000	△ 1,000,000	(東京兵庫県人会ふるさと募金に充当)
ひょうご倶楽部・東京特別会計	0	0	0	(兵庫の情報発信・人的ネットワーク拡大事業へ充当)
繰 越 金	4,716,305	4,716,305	0	
雑 収 入	29	1,000	△ 971	預金利息
合 計	※1 9,415,094	11,509,305	△ 2,094,211	

### (支出の部)

(単位: 円)

科 目	決算額 (A)	予算額 (B)	増減 (A) - (B)	説 明
総 会 費	3,796,435	3,420,000	376,435	会場使用料等 3,796,435
会 議 費	167,703	150,000	17,703	幹事会等開催経費
会 報 発 行 費	837,852	1,000,000	△ 162,148	年2回発行 各1,600部
郵 送 費	756,560	1,200,000	△ 443,440	会報誌、総会案内配送費、郵券購入費等
事 務 局 費	234,816	310,000	△ 75,184	封筒印刷経費、事務用品購入費等
事 業 費	0	1,380,000	△ 1,380,000	ふれあいセミナー開催費 0 同郷会・同窓会意見交換会実施費 0 各同郷会等参加費 0 のののの会(中堅・若手会員交流会) 0 兵庫お酒の会 0 ふるさとツアー実施費 0 東京宝塚劇場観劇会 0
ホームページ維持管理経費	108,722	150,000	△ 41,278	
ホームページ改善費	0	200,000	△ 200,000	
東京兵庫県人会ふるさと募金	0	1,000,000	△ 1,000,000	
予 備 費	※2 6,000	2,699,305	△ 2,693,305	
合 計	5,908,088	11,509,305	△ 5,601,217	

翌年度繰越金 3,507,006円(※1-※2)

### (積立金、基金等)

(単位: 円)

科 目	令和元年度末積立額	令和2年度			積立額計
		新規積立額	取り崩し額	預金利息	
ふるさとひょうご基金積立金	3,282,005	0	0	158	3,282,163
ひょうご倶楽部・東京特別会計	39,322,297	0	0	1,907	39,324,204

# 令和3年度事業計画・収入支出予算

## 令和3年度事業計画

### 1. 役員会等の開催

内 容
(1) 役員会等の開催 本会の円滑な運営を図るため、適宜、役員会等を開催する。
(2) 常任幹事会の開催 会長が命ずる常務に関することを審議するため、適宜、常任幹事会を開催する。なお、常任幹事会には、原則として幹事の参加を求めることとする。

### 2. 総会・交流会

場 所	年月日	内 容
品川プリンスホテル	R 3.11.16(火)	・総会 会長挨拶、事業報告等 ・知事挨拶 ・講演 南部 靖之さん((株)パソナグループ代表取締役兼グループ代表兼社長)

### 3. 会報誌「ふるさとひょうご」

発行回数	発行部数	備 考
年3回	各1,600部	140号～142号(6月、10月、2月)

### 4. ふるさとひょうごふれあいセミナー

回	年月日	講 師
第65回	R 3. 5.13(木)	明石 定子 さん(昭和大学病院乳腺外科 教授)

### 5. その他

内 容
・ふるさとツアー、「のののの会」(中堅・若手会員交流会)、兵庫お酒の会、東京宝塚劇場公演鑑賞会、首都圏の同郷会・同窓会との意見交換会は適宜活動を検討 ・県人会ウェブサイト等による情報発信、新規会員の加入促進

## 令和3年度収入支出予算

### (収入の部)

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	説 明
会 費	2,448,000	2,592,000	△ 144,000	年会費@3,000×816人(R3.3.31時点会員数)
参 加 費	2,005,000	1,080,000	925,000	総会交流会@4,000×250人 1,000,000 ふれあいセミナー@3,000×60人 180,000 同郷会同窓会意見交換会@5,000×70人 350,000 東京宝塚劇場観劇会@9,500×50人 475,000
広 告 料	1,500,000	1,320,000	180,000	会報誌広告料 1,500,000
補 助 金	1,000,000	800,000	200,000	(公財)兵庫県市町村振興協会助成金 1,000,000
ふるさとひょうご基金積立	1,000,000	1,000,000	0	東京兵庫県人会ふるさと募金に充当
ひょうご倶楽部・東京特別会計	3,000,000	0	3,000,000	兵庫の情報発信・人的ネットワーク拡大事業へ充当
繰 越 金	3,507,006	4,716,305	△ 1,209,299	
雑 収 入	1,000	1,000	0	預金利息等
合 計	14,461,006	11,509,305	2,951,701	

### (支出の部)

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	説 明
総 会 費	4,275,000	3,420,000	855,000	会場使用料等 4,275,000
会 議 費	150,000	150,000	0	幹事会等開催経費
会 報 発 行 費	1,500,000	1,000,000	500,000	発行回数 年3回 各1,600部
郵 送 費	1,500,000	1,200,000	300,000	会報誌・総会案内配送費、郵券購入費等
事 務 局 費	310,000	310,000	0	封筒印刷経費、事務用品購入費 等
事 業 費	2,563,000	1,380,000	1,183,000	ふれあいセミナー開催費 888,000 同郷会・同窓会意見交換会実施費 600,000 各同郷会等参加費 100,000 のののの会(中堅・若手会員交流会) 100,000 兵庫お酒の会 100,000 ふるさとツアー実施費 300,000 東京宝塚劇場観劇会 475,000
ホームページ維持管理経費	150,000	150,000	0	
ホームページ改善費	600,000	200,000	400,000	県人会ホームページ更新、PC購入費用
東京兵庫県人会ふるさと募金	1,000,000	1,000,000	0	
予 備 費	2,413,006	2,699,305	△ 286,299	
合 計	14,461,006	11,509,305	2,951,701	

### (積立金、基金等)

(単位：円)

科 目	令和2年度末積立額	令和3年度			積立額計
		新規積立額	取り崩し額	預金利息	
ふるさとひょうご基金積立金	3,282,163	0	△ 1,000,000	0	2,282,163
ひょうご倶楽部・東京 特別会計	39,324,204	0	△ 3,000,000	0	36,324,204



# 東京兵庫県人会役員等一覧

令和3年11月16日現在

【新】	会 長	池田 克彦	(公財)日本道路 交通情報センター	理事長
	副 会 長	飯塚 浩彦	(株)産経新聞社	代表取締役社長
	副 会 長	奥谷 禮子	CCCサポート& コンサルティング(株)	代表取締役会長
	副 会 長	金花 芳則	川崎重工業(株)	代表取締役会長
	副 会 長	北畑 隆生	(株)神戸製鋼所	取締役会議長
【新】	副 会 長	小山 正彦	(株)プリンスホテル	代表取締役社長
【新】	副 会 長	南部 靖之	(株)パソナグループ	代表取締役兼グ ループ代表兼社長
	副 会 長	日覺 昭廣	東レ(株)	代表取締役社長
	副 会 長	濱田 純一	(公社)国土緑化推進機構	理事長
	副 会 長	藤田 讓	朝日生命保険(相)	最高顧問
	副 会 長	宮内 義彦	オリックス(株)	シニア・チェアマン
	副 会 長	渡部 賢一	野村ホールディングス(株)	名誉顧問
【新】	監 事	伊藤 史匡	(株)三井住友銀行	公共・金融法人部 副部長
	監 事	坂上 勝朗	関東水上郷友会	顧問
【新】	名誉顧問	菅谷 定彦	(株)テレビ東京	特別顧問
	顧 問	石村 和彦	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	理事長
	顧 問	植田 英雄	四国化工機(株)	代表取締役会長
【新】	顧 問	太田 颯衣	NPO法人 とうきょう・はっぴーくらぶ	理事長
	顧 問	小川 甲子	東京宝塚劇場	支配人
【新】	顧 問	川崎 博也	(株)神戸製鋼所	特任顧問
	顧 問	北尾 吉孝	SBIホールディングス(株)	代表取締役 執行役員社長
	顧 問	久保井 一匡	久保井総合法律事務所	
	顧 問	河野 栄子	元(株)リクルート	特別顧問
	顧 問	佐治 信忠	サントリーホールディングス(株)	代表取締役会長
	顧 問	高崎 正弘	(株)三井住友銀行	名誉顧問
	顧 問	竹中 統一	(株)竹中工務店	名誉会長
	顧 問	たつみ 都志	武庫川女子大学	名誉教授
	顧 問	辻 哲夫	(一財)医療経済研究・ 社会保険福祉協会	理事長
	顧 問	長島 徹	帝人(株)	相談役
	顧 問	長嶋 比呂志	明治大学農学部生命科 学科	教授
	顧 問	西岡 浩史	川崎商工会議所	名誉顧問
	顧 問	藤野 慎吾	元 全国浚渫業協会	会長
	顧 問	三木谷 浩史	楽天グループ(株)	代表取締役会長 兼社長
	顧 問	森島 英一	モリシップラン・オフィス	代表

	特別顧問	庵途 典章	兵庫県町村会	会長
	特別顧問	五百旗頭 真	(公財)ひょうご震災記念 21世紀研究機構	理事長
	特別顧問	井戸 敏三	(公財)ひょうご震災記念 21世紀研究機構	特別顧問
	特別顧問	太田 勲	兵庫県立大学	学長
	特別顧問	音馬 峻	元 ニチアス(株)	最高顧問
【新】	特別顧問	齋藤 元彦	兵庫県	知事
	特別顧問	谷口 芳紀	兵庫県市長会	会長
	特別顧問	橋本 俊作	(株)三井住友銀行	名誉顧問
【新】	特別顧問	藤澤 正人	神戸大学	学長
【新】	特別顧問	藤本 百男	兵庫県議会	議長
【新】	幹 事 長	川崎 修	(株)電巧社	営業本部 技術担当部長
	常任幹事	大西 啓義	アクティビジネス(株)	代表取締役社長
【新】	常任幹事	河本 要	兵庫県東京事務所	所長
	常任幹事	志賀 俊彦	神戸新聞社	東京支社長
	常任幹事	志度 昌宏	(株)インプレス	DIGITAL X 編集長
【新】	常任幹事	服部 哲也	神戸市東京事務所	所長
【新】	常任幹事	林 丈太郎	(株)神戸製鋼所	総務・CSR部 総務グループ長
【新】	常任幹事	三井 貴子	バイオジェン・ジャパン(株)	広報・CSR本部 本部長
【新】	常任幹事	峰 圭介	川崎重工業(株)	東京本社 事務所長
	常任幹事	三宅 和宏	姫路市東京事務所	所長
	常任幹事	三宅 誠一	(株)日本経済新聞社	監査役
	幹 事	青木 正実	サッポロビール(株)	広域法人本部 法人統括部 東海北陸法人営業部 参事
【新】	幹 事	阿部 衛	(株)プレジデント社	執行役員 経営企画本部長
	幹 事	井口 正彦	東京あさご会	副会長
	幹 事	岡田 三利	(株)ホワイトマジック エンターテインメントジャパン	代表取締役社長
	幹 事	岸本 勲	三協運輸(株)	代表取締役会長
	幹 事	田中 直美	カムバックひょうご東京センター カムバックひょうごハローワーク ひょうご出会いサポート東京 センター	センター長 所長 センター長
	幹 事	田村 爾	プロメテ国際特許事務所	代表弁理士
	幹 事	中西 豪	(株)ダイイチ・クリーン	部長
	幹 事	橋本 順之	UCC上島珈琲(株)	東日本支社 支社長
	幹 事	平谷 英明	全国ふるさと大使連絡会議	代表
	幹 事	二見 宣	(一社)日本安全保障・ 危機管理学会	副会長兼理事長

※役職名ごとに五十音順で表記

(令和3年11月16日の総会・交流会以降にご就任いただいた方を【新】としています。)

# 東京兵庫県人会会則

## 第1章 総則

### 第1条 (目的)

本会は、会員相互の親睦を図り、あわせて郷土の発展に寄与することを目的とする。

### 第2条 (名称及び組織)

本会は、東京兵庫県人会と称し、東京都及びその近郊に居住する兵庫県出身者及び兵庫県にゆかりのある者並びに会長の承認する者をもって組織する。

### 第3条 (事務局)

1. 本会は、事務局を、兵庫県東京事務所に置く。
2. 事務局長を兵庫県東京事務所長をもって充てる。

### 第4条 (事業)

本会は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 兵庫の情報発信事業
- (2) 交流事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 第2章 会員

### 第5条 (会員)

1. 東京都及びその近郊に居住する兵庫県出身者及び兵庫県にゆかりのある者並びに会長の承認する者で、本会の趣旨に賛同して入会した者をもって、会員とする。
2. 会員は、次条に定める会費を納入しなければならない。

### 第6条 (会費)

1. 会費は年会費及び臨時会費とする。
2. 年会費は、下表のとおりとする。

役職等	金額
会 長	50,000円
副 会 長	30,000円
幹 事 長	20,000円
名誉顧問、常任幹事	10,000円
顧問、幹事	5,000円
監事、一般会員	3,000円

(上記の金額は令和4年度から適用する。)

3. 臨時会費は、第4条第1号及び第2号の事業に参加した会員から徴収するものとして、その額は、そのつど定める。

## 第3章 役員及び顧問

### 第7条 (役員)

本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名

### 第8条 (職務)

1. 会長は、本会を代表し、会務を統轄する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
3. 監事は、事務の執行及び会計を監査する。

### 第9条 (選任)

役員は、総会において、会員の中から選任する。

### 第10条 (名誉顧問、顧問、特別顧問)

1. 本会に、名誉顧問、顧問及び特別顧問を若干名置くことができる。

2. 名誉顧問、顧問及び特別顧問は、会長が委嘱する。

3. 名誉顧問は、重要な事項について、会長の諮問に応じ、又は意見を具申する。

4. 顧問又は特別顧問は、会長の諮問に応じ、又は意見を具申する。

### 第11条 (幹事長、常任幹事、幹事)

1. 本会に、幹事長、常任幹事若干名、幹事若干名を置くことができる。

2. 事務局長は常任幹事を兼ねることができる。

3. 幹事長、常任幹事、幹事は、会長が委嘱する。

4. 幹事長は、会長の命を受け、会務を執行する。

5. 常任幹事は、常務に関する事項について、会長の命を受け、事業を執行する。

6. 幹事は、会長の命を受け、事業を執行する。

7. 会長が命ずる常務に関することを審議するため、常任幹事会をおく。

8. 常任幹事会は、幹事長が招集し、会議の議長となる。また、必要に応じて幹事の参加を求めることができる。

### 第12条 (任期)

1. 役員、幹事長、常任幹事及び幹事(以下「役員等」という。)の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2. 補欠により選任された役員等の任期は、前任者の残任期間とする。

3. 役員等は、任期終了後も、後任者が就任するまでは、その職務を行う。

## 第4章 総会

### 第13条 (総会)

1. 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2. 通常総会は、毎年1回開催する。

3. 臨時総会は、必要に応じて開催する。

### 第14条 (招集)

総会は、会長が招集し、会議の議長となる。

### 第15条 (議事)

総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可決同数のときは、議長の決するところによる。

### 第16条 (会則の改正、予算及び決算)

本会の会則の改正、収支予算及び収支決算は、総会の承認を得なければならない。

## 第5章 会計

### 第17条 (経費支弁)

本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。

### 第18条 (会計年度)

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第6章 雑則

### 第19条 (施行規則)

この会則の施行に関し必要な事項は、会長が定める。

※県人会事業の継続的な運営を図るため、役員等の年会費を増額(第6条の下線部を改正)



佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 2022

# ラ・ボエーム

歌劇

全4幕 / イタリア語上演・日本語字幕付 / 新制作

【指揮】佐渡 裕 【演出】ダンテ・フェレッティ

【音楽】ジャコモ・プッチーニ 【台本】ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイジ・イッリカ

パリー  
たった一度の  
愛、青春

佐渡裕が紡ぐロマンティックな音楽、  
米国アカデミー賞受賞デザイナー・  
D.フェレッティ

*La Bohème*  
Giacomo Puccini



2022 7/15(金) 16(土) 17(日) 18(月・祝) 20(水) 21(木) 23(土) 24(日) 各日 2:00PM開演

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスタグ / JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円 [消費税込 / 全席指定]

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 10:00AM~5:00PM  
月曜休 ※祝日の場合翌日  
(インターネット予約) <http://www.gcenter-hyogo.jp> 主催 / 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)

2022年3月発売!

11日(金) B・C・D・E席 | 12日(土) A席

特設ウェブサイト公開中

お席も選べます!

兵庫 ボエーム

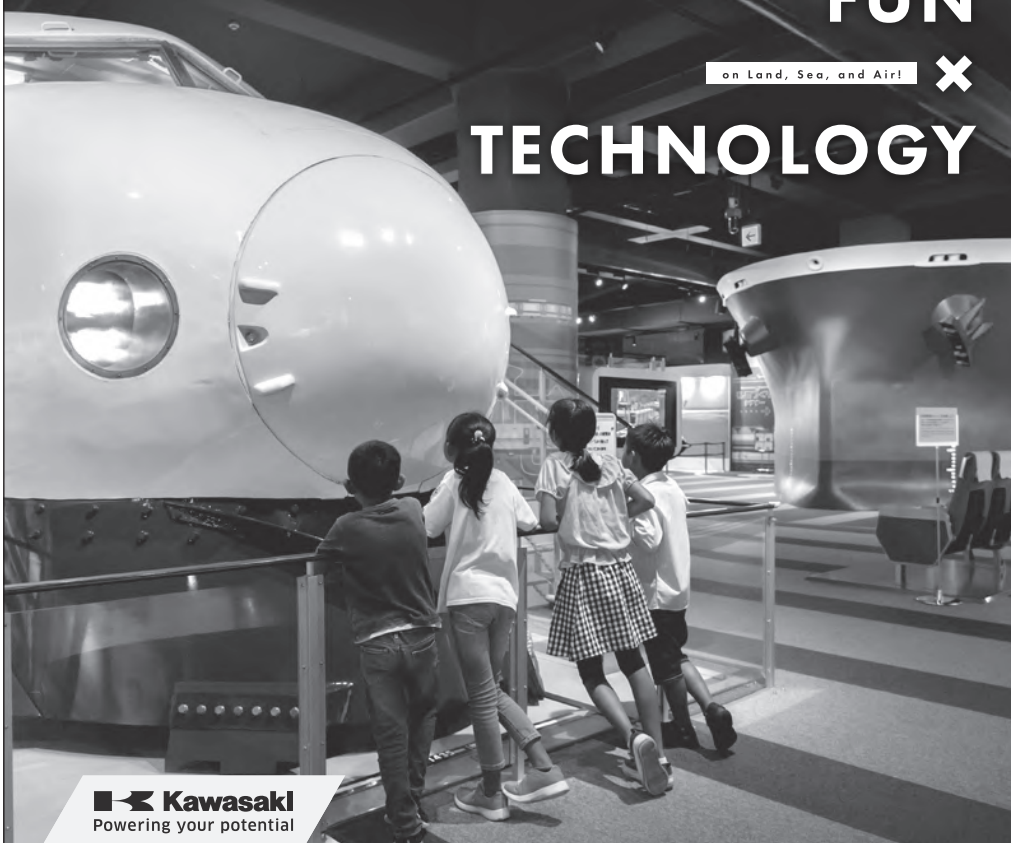
検索

テクノロジーを「見て」「触れて」楽しく体験

## FUN

on Land, Sea, and Air!

# TECHNOLOGY



**Kawasaki**  
Powering your potential



**カワサキワールド**  
Kawasaki Good Times World



**開館時間**  
10:00 ~ 18:00  
(入館は17:30まで)

**休館日**  
毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌日に休館)  
年末年始(12月29日~1月3日)

**入館料**  
大人900円 / 小人(小・中・高校生)400円  
※カワサキワールドの入館料は海洋博物館入館料に  
含まれています。





# 俳句サロン「道草」通信

依然としてコロナウイルスは、デルタ株からオミクロン株へと変異しながら、蔓延し続けています。私たちの防御策は、「三密」の禁止、手洗い、嗽の励行、マスクの常時着用という基本のルーティンを守って、コロナウイルスに負けないことだと思っています。

私たち「道草」の句会も、昨年は一堂に会する句会を避け、通信句会で通して来ました。その結果、短時間に句を詠むリアルな句会とは別な、投句するまでに数日の余裕を持ち、時間をかけて句を詠むことが出来る、通信句会の良さも知りました。今回、皆さんが披露して下さった句にも、時間をかけてこそその句があると思います。今回は昨年九月から年末十二月までに詠んだ句を披露させていただきました。ご高覧下さい。

- 古碑のある旧街道や曼珠沙華 (芦尾 白然)
- 約束の春待てなくて狂ひ花 ( )
- 亡き夫の米寿を祝ひ冬薔薇 (太田 一光)
- 円を描く落葉吹雪の黄に染まる ( )
- 声もなく秋の初風通りけり (君塚 明峰)
- 炊き立ての新米今日を生きてゐる ( )
- 連呼する声通り過ぎ冬構え (久保 竹里)
- 茶の花や一輪挿しの侘び住まい ( )

- 凧の一天隈なく拭き透す (坂上まさあき)
- 方便をば風に任せて雪婆 ( )
- 虫の声ついに聴けたり補聴器で (伊達 瀬音)
- しあわせは一時がいい冬うらら ( )
- 稲架されて大和三山ひとつ見ゆ (田中 空雅)
- 回忌終へ帰途それぞれに木の葉雨 ( )
- 忘らるる墓や野菊の乱れ咲き (本間 金吉)
- 廢屋にひと色添へて返り花 ( )

私たちの通信句会は、毎月、坂上さんが提示して下さる「兼題」で始まります。昨年十二月の兼題は「綿虫」と「帰り花」でした。綿虫の生息は、とても複雑で短命です。綿のような物質を身体に付け、飛ぶ時期があります。この虫が現れると、雪の降るのが近いとか。それで雪虫、雪婆(ゆきばんば)とも言われるそうです。「帰り花」は、本来春に咲く桜とか躑躅が、季節を間違えているかのように、晩秋から初冬にかけて花を咲かせます。これを俳句では、冬の季題としています。坂上さんは、このような解説のついた形で、季題を提示して下さいます。私たちは、この解説から学ぶことが多く、毎月、季題解説メールが届くのを、楽しみに一つにしています。パソコン上でこの兼題を見たときが、通信句会の始まりです。この季題をどのように句の中で活かせるか、これを考えるのが、毎月の楽しい時間になっています。

(俳句サロン「道草」芦尾芳司記)

## 俳句入門書から

芦尾白然(芳司)

俳人上田五千石は、若い時代、神経症に陥っていました。お母さんの勧めで俳句を始め、師匠の秋元不死男に出会って、神経症は吹っ飛んだようです。句会に出て半信半疑で詠んだ句を、不死男が褒めてくれたことや、五千石の質問に答えて、夜の更けるのも構わずに、丁寧に順々と現代俳句の詩法を説いてくれたとのこと。やさしく且つ厳しい姿勢にいつぱんに惚れてしまったと、入門書に書いています。

俳句に夢中になることで、神経症から立ち直り、命あってこそ俳句に打ち込めるし、俳句さえやっていけば、生きていけることを悟ったとあります。そしてその頃に詠んだ次の句があります。

ゆびさして寒星一つづつ生かす 五千石

空を見上げれば見える星の一つひとつ。その一つひとつを指さすことで、その星が、命のある人間のように思えてくる。「一緒に生きて行こうよ」と、呼びかけることで喜びが生まれ、自ら「五千石は生きてゐるぞ」と意識する。入門書にも「俳句によって、自分という存在がはっきりしてきた。そうなる自分を中心、宇宙の全てがいっきし始めた」とあります。

事の始まりとは、かくしたものでしょうか。顧みて十年を経ても、ふわふわと浮いているかのような劣等生ではありませんが、続けていく粘り強さは持っています。五千石を学び、不死男を学んで、「道草」の皆さんにも懸命に付いて行きます。